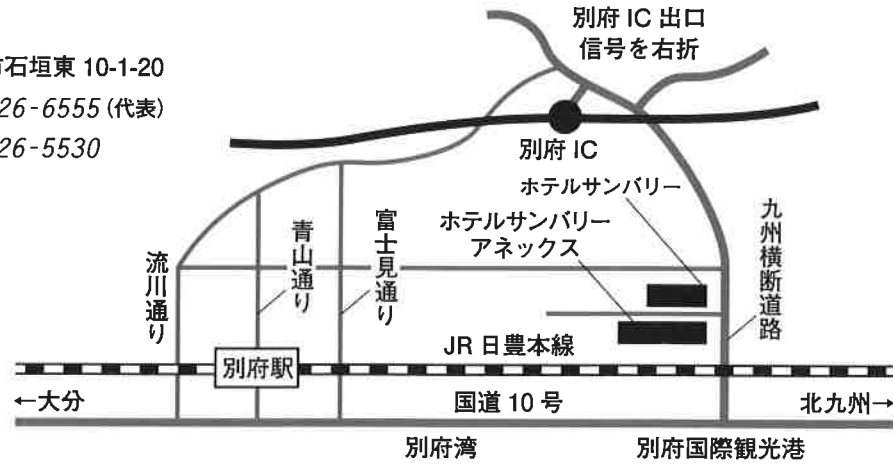


access

[会場] ホテルサンバリーアネックス

〒874-0919
大分県別府市石垣東 10-1-20
TEL 0977-26-6555 (代表)
FAX 0977-26-5530



- ・JR別府駅よりお車で約15分 ・大分空港よりお車で約40分
- ・大分自動車道 別府IC出口信号右折よりお車で約15分
- ・別府国際観光港より徒歩約10分

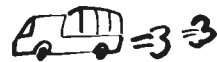
<http://www.hotelsunvalley.com/annex/>

公共交通機関をご利用の方

- ・別府駅東口ロータリーを12時にマイクロバスが出ます。(定員27名)
- バスは10号線の別府北浜から関の江行又は国東行に乗り春木川バス停下車です。

1.31(土) 11:00

おおいた
Organic Market
やります!



- ・青井農園/切干大根
 - ・下郷農協
 - ・農文協
 - ・タオ・オーガニックキッチン
 - ・Natural & Organic Sweets Cocochi
 - ・国産小麦と天然酵母のパン工房 hibino
 - ・Natural Healing Food ニドム
 - ・Alycia キッチン&カフェ
 - ・しあわせの食卓
 - ・佐伯/海産物
 - ・株式会社くにさきエコシステム/ひまわりオイル
 - ・JAS 認定椎茸
 - ・安心院 terracoya アヤカキッチン
 - ・岩田さんの台所・おやつ
 - ・是恒自然農園
 - ・Life Garelly 花
 - ・欧風家庭料理 IDÉE 食堂
- その他予定あり ※順不同。出店者は変更する場合がございます。ご了承下さい。

facebook はじめました!

<https://www.facebook.com/oitayukinougyousaitenn>



火の国九州・山口

22th

有機農業の祭典

in おおいた

2015.1.31(土) - 2.1(日)

[会場] 別府/ホテルサンバリーアネックス

一般の方
ご参加も
大歓迎です!



主催/NPO 法人大分有機農業研究会 共催/おおいた有機農業推進協議会

火の国九州・山口
22th

有機農業の祭典

in おおいた

2015.1.31(土) - 2.1(日)

【会場】別府／ホテルサンバリーアネックス

1.31(土) 11:00 おおいた Organic Market 11:30 受付開始

13:00 ごあいさつ

13:30 基調講演

「学校現場で感じる食と健康への危機感
～1ヶ月で体が変わる食改善報告～」
NPO 大地といのち会 聖和女子学院中等学校理科講師
講師 中尾 慶子氏

14:45

「地球畑の歩み ～未来に向かって生きる道は～」
地球畑代表・NPO 法人鹿児島有機農業研究会常務理事
講師 大和田明江氏

【お弁当リスト】

1 安心院 terra coya アヤカキッチン ×
Natural & Organic Sweets Cocochi
「マクロビオティック中華弁当」
安心野菜を使ったベジ餃子や春巻き、
中華なマクロビスウィーツ

7種類のうち
お好きなものを
1つ選べます

2 岩田さんの台所・おやつ ×
国産小麦と天然酵母のパン工房 hibino
「大分県産自然農法小麦のパンのサンドイッチ弁当」

3 Natural Healing Food ニドム 「由布のめぐみ弁当」

4 Life Gallery 花 「マクロビ玄米弁当」

5 Alycia キッチン&カフェ
「大分の野菜と林檎のベジタブルカレーと
大分の小麦のチャパティー～竹籠ランチボックス」

6 欧風家庭料理 IDÉE 食堂
「ポパイ・ザ・ヒーロー弁当 (ハウレンソウ尽くし)」

7 しあわせの食卓
「佐伯 しあわせの食卓弁当～佐伯市の海と山のめぐみ」

～つなごう つくる たべる とどける そして 未来へ～

次世代の子どものことを考えながら、有機農業を選択した農業者は多いと考えます。

この祭典に参加される生産者全てに共通するテーマとして掲げました。

子供の心身の健康の危機的状況を通して、食全体、食文化全体の緊急な改革と改善が求められています。

その具体的な解決の根本を支えるのは有機農業者に他なりません。

そして安心できる食材が子供の口に入るまでの具体的で実現できる方策を作ることが急がれます。

大分県の場合は生産者も思いはあっても具体的に必要としている人に届ける流通のシステムが整っていません。

流通のための生産者・消費者のネットワーク作りもこれからです。今年はプロが集まるこの祭典の場で

経験と知恵を持ち寄り、「将来ではなく明日動ける方法」ととことん話し合う機会にしたいと考えます。

一般の方への啓蒙よりは関係者が一つのテーマに絞って話し合う会になると思います。

しかしながら理想論に終わらない何かが残せれば一般の方の生活にも影響を及ぼすことができると思います。

例えば「給食」において子どもの食を賄っていく場合に大分だけでは量が足りません。

今まで九州各県から流通の矢印が都市圏に向かっていた部分をもう少し九州で円になるように

流通が始まると実現しやすいと思います。有機農業の祭典での交流を流通へ発展できればと考えます。

テーマ

「子どもの食を考える」

15:45 シンポジウム

「有機野菜の流通を考える」
～九州からネットワークを作ろう～

司会 青井朝輝氏…青井農園

パネラー

中尾慶子氏 大和田明江氏

〈行政・有機の里臼杵〉佐藤一彦氏…臼杵市有機農業推進室室長

〈生産者〉森岡雄平氏…むぎわらぼうし・ウジャマー農場

〈流通業界〉吉富信長氏…コメディア代表

◆参加者との質疑応答 (あらかじめ質問用紙に記入していただきます)

18:30 交流会

大分県産有機・自然栽培食材を使った郷土色メニューを中心に提供

◆食材提供の生産者による説明 ◆料理長による料理の説明

◆各県の代表によるメッセージ ◆有志によるひとことメッセージ

2.1(日) 9:00 「百年ごはん」上映会・交流会
大分県臼杵市「有機の里」の取組みを紹介した映画です。

10:30 挨拶・記念撮影・解散

12:00 別府鉄輪温泉・柳屋交流会 [希望者のみ定員 50名]
温泉地獄蒸し窯と温泉水を使ったメニュー

温泉の地獄蒸し窯や温泉水を利用した大分県産の有機食材の
メニューを頂きながらの交流会です。 ※事前の振込みをお願いします。

参加費

◆2日間 大会・交流会・宿泊込
(一人シングル)14,000円 / (ツイン)13,000円
◆弁当代 希望者のみ 1,000円
◆大会参加のみ ひとり 1,000円
◆大会と交流会参加 5,500円

◆定員/宿泊定員 160名程度 ◆大会定員 / 220名程度
◆交流会参加 / 160名 ◆2月1日の地獄蒸し体験 / 50名
※定員になり次第締め切らせていただきます。
※申込み状況によりましてはご希望に添えない場合もございます。

宛先

NPO 法人おおいた有機農業研究会 諫山二朗
大分市大字下郡 1602-1 大分県保険医会館 2F
TEL097-567-2613, FAX097-567-2614,
メール unet@po.d-b.ne.jp

FAXの場合は、別紙 FAX 用紙に必要事項をご記入の上、お送り下さい。

申込み締切
12月25日

中尾 慶子氏 プロフィール NPO 大地といのちの会理事 聖和女子学院理科講師

1994年、長男妊娠中に二十歳の妹を交通事故で亡くしたことが、命について真剣に考えるきっかけに。目撃者のいない交通事故裁判を5年間経験し、命と現代社会の関係を考えさせられた。そんな中、家族をいやしてくれたのは土であった。全ての命は土に帰り、全ての命は土から生まれる…あらゆるものを受け入れながら…この当たり前のことに気付かされた。

双子出産のため産婦人科に1ヶ月入院した間、不妊症・死産の増加の現状を実感し、さらに高校現場の生徒達の体調不良・便秘・生理不順・精神不安定・リフトカットの増加に直面。夫婦共に卒業生からの、流産やガン等の報告に胸を痛め、40歳以降のガン体質と言われる低体温の生徒達が、40歳までもっていない現実を痛感。クラスの半数が低体温である現状に驚き、病氣も連続する自殺も学校現場で直面した問題として苦悩する中、土に触れるこの活動に具体策を感じた。これまで出会った生徒達や我が子の幸せのためにも、環境(土・食)と健康が密接な関係にあることを伝えていく必要性を感じている。「生ごみリサイクル元気野菜作り」は最も、身近で日常生活の中で目に見えて取り組める最高の教材。現在、吉田俊道氏と共に食育活動を本格始動している。
「大地といのちの会」ホームページ <http://daititoinotinokai.web.fc2.com/>

大和田明江氏 プロフィール 地球畑代表・NPO 法人鹿児島有機農業研究会常務理事

「有機農業」というテーマに出会ったのは今から40年ほど前。大地や空気を守り、人々の健康や生態系を守り、公正な社会と未来の命を守る有機農業は、一部の人のこだわりの農業にとどまるべきではない。多くの人々に広がってこそ環境は守れる。そうした気持ちから協会設立にも関わり事務局長、専務理事として無理な二足のわらじを長く履いてきました。地球畑は「有機農業の畑を広げること」「有機農業に取り組む生産者の輪を広げること」をコンセプトに、1984年有機農産物の組合としてスタートした(有)かごしま有機生産組合の直営店。今では、160名を超える生産者が参加する組織に、県内に直営店を5店舗経営。生産者と消費者を結び、地域に有機農業を拡げていけるように、と「地球畑」が誕生したのが1992年の1月。今年でちょうど23年。地元のおいしい有機農産物を地元のみなさんに食べてもらいたい、という一念で生まれた地球畑。有機生産者組織の直営店として、その貴重な地元産の有機農産物のみを販売している地球畑は、日本の中でもまだ本当に希少な存在である。

発足当初は地元の理解が得られず、せっかくの有機農産物を学校給食で使ってもらうことも難しく、都会への送りに頼らざるを得ない状況があった。しかし少しずつ消費者の理解を得て、地道な運動と努力で鹿児島有機の先進県に変えていく。誰もが健やかな環境の中で健康に生きていける社会を目指して、地球畑は今も変わることのない発足当初の理念を大切に運営している。地球畑ホームページ <http://www.chikyubatake.jp/message/59.html>

「おおいたでとことん語ろう」「おおいたをとことん味わおう」